

令和5年度 第1回下野市健康づくり推進協議会 会議録

日 時 令和5年7月13日 午後1時30分～午後3時30分

場 所 下野市役所 303・304会議室

出席委員 村田光延委員、黒田裕之委員、金子ひとみ委員、春山早苗委員、鶴見利夫委員、上野文夫委員、齋藤好子委員、菅井貞雄委員、宇賀地恵子委員、荒川真理子委員、原口由紀子委員、小島恒夫委員、木村千里委員、中村剛史委員、長塚章委員、金田欣明委員、浅香浩幸委員

欠席委員 小林亜友子委員、堀田富士江委員

事務局 福田健康福祉部長
川嶋健康増進課長
感染症対策グループ：江連課長補佐
母子保健グループ：横田主幹
子育て世代包括支援センター：中新井主幹
成人保健グループ：生井課長補佐、大栗主査、奥村主査（保健師）
石川主査（保健師）、山崎主事（管理栄養士）、佐藤主事（保健師）

配布資料 会議次第
下野市健康づくり推進協議会委員名簿
下野市健康づくり推進協議会設置要綱
事前送付資料1 健康しもつけ21プラン 地域団体の取り組み <令和4年度評価表>
事前送付資料2 健康しもつけ21プラン 庁内各課の取り組み <令和4年度評価表>
資料1 成人保健事業概要について
資料2 母子保健事業概要について
資料3-1 定期予防接種について
資料3-2 新型コロナワクチン接種について
資料3-3 感染情報
資料4 健康しもつけプラン21の計画期間延長について
資料5-1 R4健診・医療・介護データからみる地域の健康課題
資料5-2 健康スコアリング（健診）
資料5-3 下野市の状況
資料6 第4次健康実態調査結果
資料7 全体評価

1. 開会 （開会・進行：川嶋課長）

2. 委嘱状交付 委嘱状を交付（福田部長）
委嘱者変更者に伴い、代表として民生委員児童委員協議会の鶴見委員へ交付

3. あいさつ 春山会長
今年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。一年経つのも早いもので今年度も3か月が過ぎておりますけど、コロナも5類になったということで皆様通常の生活に戻りつつあるのではないかと思います。この3年間の影響が知らず知らずのうちに色々なところに及んでいて、その1つに健康というところがあると思います。本日の議事にもございますが、少し下野市の健康増進計画のスケジュールが変わるようですけれども、改めて健康の大切さを認識しまして、この会は下野市の様々な組織・団体の方々がいらっしゃっておりますので、一丸となって下野市の市民の健康のために色々と考え市政に少しでも反映していければと思っておりますので皆様どうぞご協力お願ひいたします。

4. 自己紹介 （出席者名簿順に自己紹介）

5. 下野市健康づくり推進協議会設置要綱の説明

6. 議事

- (春山会長) それでは、議事に入っていきたいと思います。事務局から一括で説明いただき、その後、ご質問・ご意見等承りたいと存じます。最初に保健事業の概要についてお願いいたします。
- (事務局) 資料1・2・3-1・3-2・3-3に基づき説明
- (春山会長) ありがとうございます。保健事業の概要につきましてご説明いただきました。皆様の方から何か質問やご意見とかございますでしょうか。
- (村田委員) 今、コロナについての話がありましたが、補足します。医師会の方で全数把握を続けています。下野市での変遷を記録しており、下野市は4点台です。例えばインフルエンザの場合10点を超えると流行期に入ります。各医療機関の判断でお薬が3種類出せるようになっていて、皆さん軽症で済んでいる状況です。大きく変わったのは5類になって協力医療機関が増えました。お薬の手続きはまだ煩雑ではありますが規制はだいぶ無くなりましたので、内科系のクリニックはほぼ対応できている状況です。
- (春山会長) ありがとうございます、ほかに皆様の方から何かありますでしょうか。では、2つ目としまして健康しもつけ21プラン第3次の計画期間延長について、事務局から説明お願いいたします。
- (事務局) 資料4に基づき説明
- (春山会長) ありがとうございます。今、説明がありましたが、現在の計画を令和7年度まで延長し、令和7年度に令和8年からの計画を立てる。それについては栃木県の計画も伸びておりますし、多くの市町も令和7年度まで延長し令和8年度からの計画でスタートさせるとのご説明がありましたが、何かご質問やご意見ございますでしょうか。ご質問等なければ健康しもつけ21プランの延長については、皆さんご了承いただいたということにしたいと思います。それでは3つ目といたしまして、健康しもつけ21プランの評価について、事務局から説明お願いいたします。
- (事務局) 資料5・6・7・事前送付資料1・2に基づき説明
それでは最後になりますが、皆様には評価ということで沢山の取り組みをしていただきまして、ありがとうございます。今お話しした通り成人保健グループの重点目標は先ほどの2点を中心にやっていくと決めたわけですが、あとは出席していただいている団体の皆様をお願いしたいことが何点かあります。団体の皆様にはそれが実施可能なかどうかご回答いただければと思います。
まず歯科医師会と歯科衛生士会と一緒にいるかと思いますが、歯周疾患検診の受診率が一桁台のため歯周疾患検診のPR、あと先ほどのアンケートの結果より、かかりつけ歯科医師の必要性、昼食後の歯磨きの必要性を乳幼児健診やフッ素塗布などの様々な場所で周知していただきたいと思います。もう一つ継続でお願いしたいのですが、タバコが及ぼす影響の普及啓発をお願いしたいという3点ですが、黒田委員、金子委員実施可能でしょうか。
- (黒田委員) 今の話にあったことについては、こちらでもやらなくてはいけないことだと思っているところです。歯周疾患検診を実施しているのが下野市と同じように実施している小山市は自己負担1,000円があるにもかかわらず受診する人はいるのですが無料で実施している下野市はあまり受診する人がいないのが現状です。やはり周知を徹底する必要があると思っていますので、歯科衛生士会さんと協力して改善出来るように努力したいと思います。
- (事務局) ご協力の程、どうぞよろしく願います。

- (金子委員) かかりつけ歯科医についても年代層にもよりますが、高齢福祉課の事業の中で高齢者に向けてかかりつけ歯科医は必要だということは伝えております。ただ、どうしても若い世代にPRができていないところがあるのかなと思うので、歯科医師会さんと一緒にもっとプッシュできるように、色々な機会で啓発していきたいと思っております。禁煙も然りで、歯科医師会さんと一緒に啓発していければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
- (事務局) ありがとうございます。
次は民生委員協議会になります。まず、お願いしたいのが3地区の民生委員さんの会議に保健師を出席させていただきまして、先ほどお話しました下野市の状況をお話しさせていただければと思います。
2点目に民生委員さんの日々の活動の中で受診勧奨をお願いしたいと思っております。あと地域によるかもしれませんが、民生委員さんが生活保護受給者を把握している場合もあると思っております。下野市の生活保護受給者の健診受診率がとても低い状況にもありますので、できる範囲で結構ですので生活保護を受けている方に対しての健診受診についてお声がけをお願いできないかなと考えているのですがいかがでしょうか。
- (鶴見委員) 1点目については、ぜひ近いうちに国分寺地区及び南河内地区の会長さんとも相談して市の民児協全体の具体的なこれからの方策としましてご出席いただくべく、日程調整も含めて早速実現を目指したいと思っております。まずその際どういう形でやっていくのか個別に相談していただければと思います。
2点目ですが、民生委員児童委員の仕事は、担当地区内の生活の実情を把握して、必要に応じて訪問や相談に乗ったりすることですが、要支援者宅等に訪問した際に、健診の受診案内についての取り組みはほとんど無かったので、今回の提案を受けて対応が可能なのか民児協全体の役員会で話し合いをし、前向きに検討していきたいと思っております。それと、生活保護受給者の受診率が低いということですが、我々は生保受給者の把握はしていないので、受給者の把握が前提の取り組みになると思っておりますが、生保受給者の受診案内についてもできるかどうか検討課題としたいと思っております。
- (事務局) 3点目の生活保護の方については民生委員さんがわかっている範囲でということになります。相手の方から生活保護受給中であることの話が出た時などに健診の受診案内をしていただければと考えております。
- (鶴見委員) そうですか。それならばできると思っております。
- (事務局) ありがとうございます。
次に、下野市健康推進員協議会は事務局が健康増進課なので日々連携を取らせていただきながら実施している状況ですので、今年度も結果説明会の参加協力ということとロコモの啓発の方を引き続きお願いしたいと考えております。
- (上野委員) はい、わかりました。それと1つ（事前資料1）この資料にある出前講座ですが、コロナ関係で難しいとの話でしたが、健康推進員がサロンで会合を開いておりますので、そこに場を設けていただければ可能かと思っております。今後、検討したいと思っております。
- (事務局) ありがとうございます。
次に、食生活改善推進協議会、こちら事務局は健康増進課になりますので、引き続き脳血管疾患の死亡率が高いという状況もありますので、減塩に重点を置いた活動と各種イベントへの参加をお願いいたします。
- (齋藤委員) 私たちも、食事での減塩ということで、まずは1gの減塩レシピを作ったりして、それをサロンやイベントなどで配布等し啓発をしていきたいと思っております。

- (事務局) はい。ありがとうございました。次に自治会長連絡協議会ですが、自治会の会議の中で今回市が新しく作成した「ここがすごいぞ下野市」を配布していただけないかと考えています。もう一点は自治会の集まりの中で健診の受診勧奨をお願いできないかなと思っています。
- (菅井委員) 自治会長連絡協議会は集まりがあまりなく、周知や実態を把握する機会が少ないです。個別自治会では取り組むことはできますが、全体では難しいところがあります。ご期待に沿えないところがあるかもしれませんが、頑張りたいと思います。
- (事務局) ありがとうございます。各自治会ごとに集まりなどがある場合には、資料の必要部数をお伝えいただければ、送付等可能ですのでそのように働きかけしていただければと思います。
次に、農村生活研究グループ協議会につきましては、集まりごとの中で減塩に重点を置いた活動を継続していただければと思います。
- (宇賀地委員) 今までもお味噌汁を各自持ち寄って、自分の家の味噌汁の塩分濃度を実際測って認知してもらうことを繰り返しております。昨年秋実施した時は前回よりもすごく濃度が減っていて心がけているんだなということで、毎年実施しても良いのではないかという話になっております。
- (事務局) どうぞよろしくお願いいたします。
次は学校保健会養護教諭部会ですが、できればPTA連絡協議会と連携していただければと思います。児童生徒さん方は年に一回健康診断を行っていると思うのですが、保健日より等に「お子さんも健診を受けたので保護者の方も健診を受けてみませんか」というような形で受診案内を掲載していただけないかということと、本日お話をさせていただいた下野市の特徴を、ピックアップして記載いただくのは可能でしょうか。
- (荒川委員) 大丈夫かと思います。養護部会は月1回位で部会がありますのでそちらで、他の養護教諭にもお伝えしまして、実施していきたいと思います。
- (事務局) 先ほどの若い世代へのアプローチというのはPTAの力を借りながらやっていけるかなと思いますのでよろしくお願いいたします。
次に石橋商工会になります。商工会さんへは身近な人への受診勧奨ということと、商工会さんで集まりがあるときに、私達が減塩についてお話しさせていただく機会をいただければと考えておりますのでご検討いただければと思います。
- (原口委員) その旨、内部で相談いたしまして回答させていただきますのでよろしくお願いいたします。その他、窓口等にパンフレットを置いたりなどしている状況です。
- (事務局) はい。引き続きのご協力お願いいたします。
健康増進課からの各団体への取り組みのお願いは以上となります。
- (春山会長) はい、ありがとうございました。
1つ確認なのですが、(事前送付資料1) 地域団体の取り組みは今年度も引き続きになるということで、よいのでしょうか。
- (事務局) こちらにつきましては、引き続き実施していただきながら、実施の難しいものについては、ご相談いただいて修正していければと考えております。
- (春山会長) はい、ありがとうございました。これからもできるものはやっていただいて、今お話のあった継続できるところについては重点的にお願いいたしますということでよろしいでしょうか。
全体を通しまして、ご質問ご意見ありますでしょうか。
では、先ほど事務局の方からお話のあった今年度の健康増進課の重点的な取り組み2点についてお伺いいたします。まず、ターゲットとなるのは下野市の国保の20歳から39歳ということでよろしいでしょうか。

- (事務局) 国保に限らず全体ということになります。
- (春山会長) 国保に限らずですね。
そうすると、働いている人もいて、職場で健診を受けている人も対象になりますか。
- (事務局) 市で検診を受ける人がターゲットになります。
- (春山会長) そうするとターゲット層によっても、アプローチ方法も違ってくるのかなと思います。例えば住民票を置いている、自治医科大学の学生も入ってくるかと思いますが、学校で毎年健診を受けていますので、下野市がターゲットにする20歳から39歳までの層を絞りこんだ上でアプローチしていただき、団体の皆さんにご協力いただくような形になっていくのかなと思います。
2点目の特定保健指導の利用率が低いというところに力を入れていくのはよいと思います。今ICTを使った方法もありますので、個別に訪問して指導するのはあまり効率はよくないと思うので、そういったところも考えながら進められるといいのかなと思いました。
皆様、何かご意見ございますでしょうか。
- (村田委員) 1つ皆さんと共有したいのは、今やっていることは非常に難しいことで、数字だけを見てがっかりしないしてほしいということです。うちのスタッフ30人程に健康増進の企画をやってみたことがあるのですが、例えば運動についてやってみると不参加者は30%くらいになります。理由としては、「書き忘れ」「必要なし」というような感じですので、あまりがっかりせず継続していくことが重要で、啓発の継続といつでも参加できる場の提供などを継続することが大事なのかなと思いました。
- (春山会長) 村田委員ありがとうございました。
他にご意見ある方いますでしょうか。
中村委員、感想やアドバイスなどありましたら是非お願いいたします。
- (中村委員) これまでの話を伺って、保健所も事業所のひとつとして、職員の健康づくりをしていかなければならないことに改めて気がつきました。
次に、保健所では難病を抱えている方に対する個別支援をしていますが、その家族など支援者の健康にも留意し、関係者を含めた健康づくりに引き続き取り組んでいきたいです。
また、皆さまに県の取組についての情報提供としてチラシをお配りしました。
ひとつは、健康長寿とちぎづくり表彰に関するもので、従業員に健康で働いてもらうための取組をしている事業所を県で認証・表彰しています。
もうひとつは受動喫煙を防止する環境づくりの取組に関する情報提供です。
また、健康日本21について国の次期計画についても情報が出てきているところで、個人の健康づくりに加えて、自然に健康になるための環境づくりの取組も参考になります。
- (春山会長) ありがとうございました。情報提供と環境づくりが大切であるとお話でした。
続きまして、小島委員よりお話があるということなのでよろしく願いいたします。

(小島委員)

先ほど事務局から、健康増進事業の話がありましたが、下野市では44団体がラジオ体操をやっているとのことで、これら団体の活動内容等を記載した下野市の地図を作してほしいと考えております。そして全国ラジオ体操連盟のホームページに登録していただき、下野市のアピールをお願いしたいと考えています。過日、県の高齢対策課で座談会がありまして、その中で様々なイベントを開催しても人が集まらないという話をしていました。日頃出かけていない高齢者を集めようとしてもなかなか集まらないということであれば、常日頃から集まりを行って行けば集まりやすく、イベントなどの情報もそういったところで発信していけば伝わるのかなと思います。また2025年問題が2年後に迫っており、高齢化率が高まり労働力も減り、社会保険料等も増大します。そういった状況だからこそラジオ体操を日頃から行って、高齢者も元気になるような取り組みを下野市全体でできれば良いかなと思います。ラジオ体操は、健康増進を目的とした運動としてみなさんにお勧めするのに非常に良いのではないかと思いますので、下野市からラジオ体操を発信できればと考えております。

(春山会長)

ありがとうございました。44団体もありますので市全体の取り組みになりつつあるかと思えます。より発展していけるように市の協力などもあるといいのかなと思います。

それではお時間となりましたので、最後に皆様の方よりご意見、ご質問でございますでしょうか。無いようでしたらこれにて終了とさせていただきますと思います。

(事務局)

長時間に渡って大変お疲れさまでした。委員の皆様におかれましては貴重なご意見、情報提供ありがとうございました。今後とも本市におきます健康づくり事業に、皆様のお力添えをいただければと思いますので、引き続き健康づくり事業にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

7. 閉会